

【家庭数配布】

平成30年11月29日

保護者の皆様へ

世田谷小学校PTA会長 今給黎ちはる
家庭教育学級委員会委員長 桐田ひとみ

第3回 家庭教育学級 実施報告書

「育児レスキューが講座」

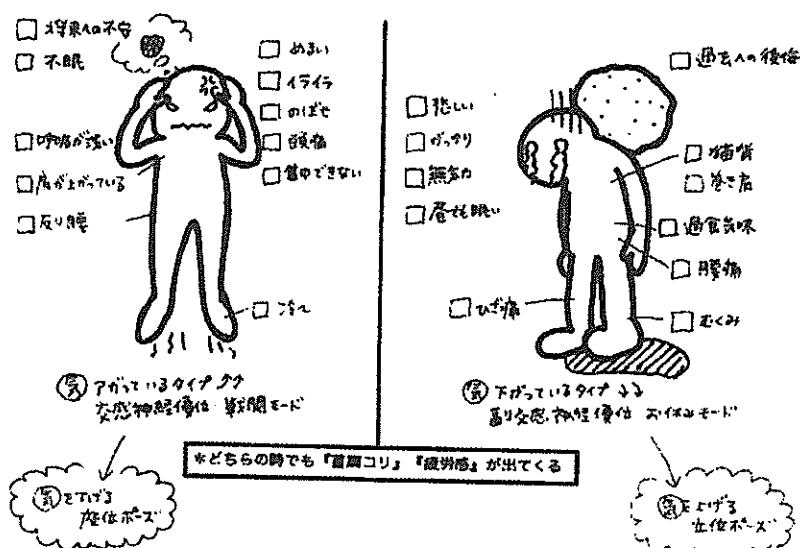
11月9日(金)、26名(保護者19名、ひとりき保育4名、他3名)参加のもと開催いたしました。

Hitomi(アマテルヨガ主宰)&Yoshie(Yoga Laboratoryアーナンダー主宰)お二人の講師をお招きし参加者の皆様お一人お一人のお悩みに合わせた自分だけのオリジナル「レスキューが」のプログラムを家でも自主的に練習できるようになることを目標として行われ有意義で楽しい家庭教育学級となりましたのでご報告させていただきます。

まずは呼吸を整え今の自分の体の状態をチェックする事から始まりました。

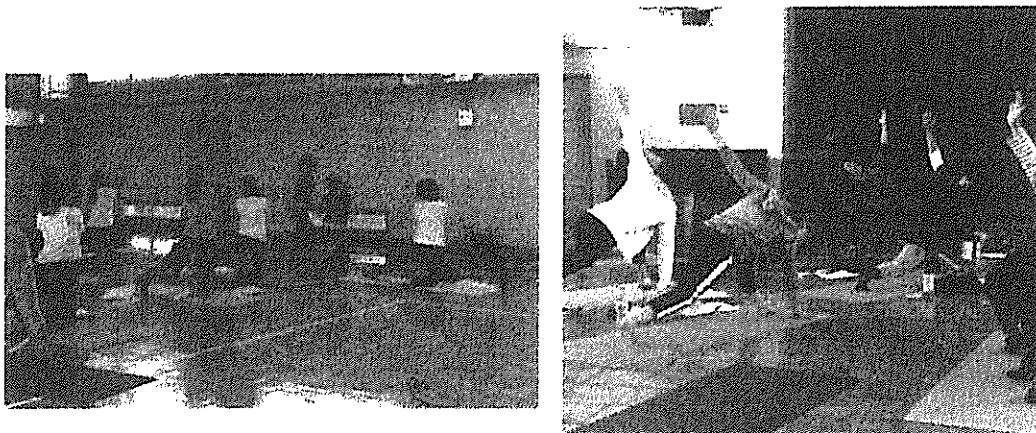
各自のお悩みの性質に合わせて、立位または座位のチーム分けをしてそれぞれのグループで練習を行いました。

○『気』は上がってる？下がってる？チェックリスト



気が上がってるグループと下がってるグループに分かれて行いました。

気が上がってるグループはおもに座位でゆったり落ち着くポーズを行いました。花輪のポーズ、かんぬきのポーズ、賢者のポーズと体の部位一ヶ所一箇所を意識して自分の体と会話をしながら問題を解消するイメージで行われました。



下がってるグループではおもに立位で正しい姿勢をもとに元気が出るポーズで行ないました。

タダーサナ、ハーフナマスカラ(半分の太陽礼拝)、三角のポーズ、戦士のポーズなど力強いポーズで胸を開くということを意識して行われました。

当日配布したチェックリストにもとづき自分にあったポーズを選びながら、自分のためのレスキュー・ヨガを組み立てました。

その後、実際のお悩みに多かった「疲労感・肩こり・腰痛」に効くモデルケースを行い、シャバーサナでは、考え方やわだかまりを大地に返すようなイメージをして力を緩めリラックスしました。

最後の瞑想では、最初にチェックした自分の体が、ヨガの練習を通してどう変化したかに気付く時間がとられました。

すっきりとした体の感覚だけでなく、満ち足りた心や、静かになっている頭の中を感じられた方多かったです。

ご参加の皆様ありがとうございました。